

森町を語る会
2023

85-6306

森町を語る会 2023
～新たな時代に向けた まちづくり～

森町を語る会のようす(文化会館小ホール)



移住先を
森町に決めた
理由は

トークテーマその1

- 4

岡まるごと移住フェア」という東京で開催された移住フェアに参加したことでした。そこで初めて静岡県に森町があることを知り、私の母が幼少期に掛川に住んでいたこともあり、何度か森町に遊びにきたり、田植えをしたりするなど様々な体験をすることで移住後のイメージを固めることができました。空き家を貸してくれた大家さんの気さくで温かい人柄にも親しみが湧き、移住を決めました。



南 翔子さん

南さん 横浜から西侯に引っ越してきました南翔子です。もう4年が経ちました。夫がこの近くの企業に勤めていたため、彼が寮を出るときにここに住もうかという話になり、彼の友人である、地域おこし

協力隊の方を伝って今の西侯の古民家にたどり着きました。神奈川での生活は、四六時中働いて心に余裕もない、人と関わることもしたくてもできない状況でした。森町での生活は真逆で、自然が豊かできれいな場所で何かが落ち着き癒されます。近所の方や様々な方と関わりを持ちながら生活しています。



杉浦 大樹さん

杉浦さん 今年の4月に西侯に家族で移住してきました杉浦大樹です。自分たちで自給する里山生活がしたいという思いから移住してきました。出身は愛知県ですが、山が好きで、前住んでいた所は岐阜県郡上市という標高が高い場所、冬が長く除雪にエネルギーを使い、作物が年の半分

ぐらしか作れない土地でした。森町は温暖な気候で、1年中野菜や果樹を育てられるし、過ごしやすいと思っています。妻の出身が浜松だったこともあり、近くで移住先を探していたときに、山林と田畑、古民家付きの物件を紹介していただき、思い描いた生活ができると思い、移住を決意しました。



古木 大介さん

古木さん 飯田地区に妻と子供2人で住んでいる古木大介です。私の場合は、森町でお店をやりたいということが第一の目的です。そのお店が一宮に11月1日に完成し、オープンさせていただきました。私自身は旧浜北出身で、小さい頃からよく森町には川遊びやアクティ森に遊びに来

ていて、自然がたくさんあって、すごく好きなところでした。大阪でお店をやっていました。が、Uターンするにあたり、旧浜北でお店を開くより、森町の自然と自分たちの生活とのバランスが程良いところに魅力を感じて移住しました。お店の場所探しでは、役場の方や地域おこし協力隊の方にも協力をいただきました。そのような人柄や温かさも理由の一つです。それから、森町には小國神社をはじめ、観光名所は多くありますが、食事や休憩をする場所が少ないなど感じていました。魅力的なこの地で、お店をやりたいと思ったのが理由です。



トクテーマその2 移住者を 受け入れる側の 立場は



高橋 均さん

高橋均さん 中村町内会、町内会長の高橋均です。世帯数は18軒、そのうち6軒が移住者です。私も33年前に森町に移住してきました。現在67歳。34歳の時に、有機農業、無農薬、化学肥料を使わないという農業をやりたいと森町にきました。当時は、商工観光課の課長さんに探していただき、2年かけて築34年の古民家を偶然見つけることができました。現在は、定住推進課があるおかげで、仲間内みたいな形で地域おこし協力隊の人た

ちもすぐ円滑に動いてくれて、行政が動いて相談に来る、そして地域が連携する。行政と地域が連携する形を町長さんがつくってくれたおかげで、世帯数が徐々に増えてきています。



齋木 薫さん

齋木さん 鍛冶島町内会の齋木薫です。世帯数は48軒、そのうち3世帯の方がここ3年で、移住をされました。それ以前だと2世帯ぐらい。やはり、定住推進課があるというのは非常に大きいと感じています。

コーディネーターの岩瀬さん、地域おこし協力隊の皆さん、そういった方が一緒につながりを持つていただくことは本当に大事だと思うし、これからもお願いしたいと思います。私としては、移住をしてくれ

る方と、地元をつなげる役割の部分の少しでもできればと思っています。最近移住してくれた方は若い方ばかりですが、地域のことに一生懸命参加してくれますし、農業もやってくれていて本当に助かっています。この他には、地権者の方に理解してもらっためにも、その地域の今までのお付き合いが大事かと思えます。上水道が引かれていない地域では、沢に水が無ければ断水になる場合もあるということを事前に話しておく必要があるかと思っています。



トークテーマその3 今後、若者が 森町に定住して いくための要素は

古木さん 外から入って来る側

としては、地域の方たちとうまくやっていけるかということが一番大きな不安要素だと思います。地権者の方や地域の方が、移住者をすごく歓迎しているのが分かる、知れる機会



古

が必要かと思っています。森町には、農業や林業など、魅力的な部分がすごくあると思うので、そういったことをやりたい人に向けて、もつと情報発信したら良いかと思っています。これから移住してくる人たちの良いモデルになれたらと思います。

杉浦さん 森町に移住を考えている人は自然の環境や里山の生活に興味がある方が多いと思います。しかし、移住す



るには、住む家と仕事が必要です。現在、貴重な古民家が続々と荒れています。手遅れになる前に、町の財産として少しでも住める環境に直していったら良いかと思いました。仕事については、自然環境に興味のある人が再生する、環境保全などの仕事をもっとたくさんあると良いと思います。

南さん 移住者を受け入れるとなると、多様な考えがある人が住んでいくことになることを理解してほしいです。私の夫は海外出身で、日本に来て10年になります。海外だと別に感情的に相手が嫌いだが

ら違う意見を言うとかではなく、本当に意見をぶつからせることがよくあります。それは相手の方、周りの方が嫌いなわけではなくて、自分の意見を素直に伝えているだけです。そのことを心に留めて移住者に合わせる、近づける努力もしていただけたらいいです。例えば、自治会費です。横浜にいたときは世帯数も違いますが500円ぐらいでした。それから、子育てのサポー



南

ト面では、気軽に一時預かりができるサービスがあるとうれしいという声を聞きます。森町に親戚がある方は家族の支援があると思いますが、移住となるとそうはいかないです。最後に空き家についてですが、車を運転しながら色々な

同時に、就職フェアも行っていましたが、森町の企業は1件だけでした。企業のホームページで人材募集などを探してみました。なかなか見つかりませんでした。仕事の面でも企業に見学に行けるなどの情報があると良いと思いました。ワークライフバランスが大事だと思っています。仕



さんが言われたように移住する方の仕事の部分まで、少し踏み込んでサポートしてあげるとだいぶ変わってくるのかなと思います。あとは、その地域の人と交流することが大事です。地域の行事に参加し

がいるとすごく心強いと思いましたが。私も色々な面で関われるように、自分もアンテナを立てていく歩み寄りが必要だなと思いました。自分に何ができるかというところ、すぐに答えは見つからないですが、まずは会ったら挨拶をするように心掛けたいと思いました。

町長 ありがとうございます。

た。大変貴重なご意見をたくさんいただきました。移住された皆さんから、多様な価値観・多文化共生ということも、もっと進めてもらいたいとい



町長

り組んでこなかったところですが、これからの時代、多文化共生を町が率先して進めたいかなければならないと思いますので、町民の皆さん、地域の皆さんもそういった気持ちで、温かく受け入れていただければと思います。また、子育て、仕事のことについても、いつも課題として伺っています。こちらについても少しでも良い形にしていきたいと考えているように思います。

ご出席をいただいた皆さん、どうもありがとうございました。皆様方のご意見等を参考にしながら、今後の町政に努めていきたいと考えています。